

**【NEWS RELEASE】**

2020年12月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

協栄産業株式会社に「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、協栄産業株式会社（代表取締役社長：古澤 栄一）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、協栄産業株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

## ① ペットボトルの日本初「ボトル to ボトル」リサイクルを実現する再生 PET 樹脂の開発

目標 12 つくる責任 つかう責任	ターゲット 12.2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
-------------------------	--

## ② 多様なステークホルダーと協働したペットボトルリサイクル技術のさらなる向上による環境負荷の低減

目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	ターゲット 9.4 2030 年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
目標 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	ターゲット 17.16 全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。

## ③ 低品位廃プラスチックの再資源化による国内での資源循環利用の促進

目標 12 つくる責任 つかう責任	ターゲット 12.5 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
-------------------------	---

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



メカニカルリサイクルによる日本初の「ボトル to ボトル」を実現した再縮合重合プラント



世界初の技術を開発・実用化した「FtoP ダイレクトリサイクル」設備



当社再生 PET 樹脂から作られた商品例

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことで

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。